常磐文藝

ほとゝぎす　しらはぎ

夕ざれば月輝くも時の間のくもかくれ行く鳥のあり

降りもせず亦晴れやらずほとゝぎす姿は見えず聲の聞くなり

夕づける川邊に立ちて故郷を眺めてあればほとゝぎすの啼く

寂しくも悲しくも泣くほとゝぎす聲聞く時ぞ吾は悲しき

ほとゝぎす啼きしとも見ゆ朝まだき見上ぐる空の何處はてやら

いづこらが果てかと思ふいづこらが中かと見ねずほとゝぎすの啼く

歌書けぬ此の夜のなれば君の御名二度三度叫びて詩集ひもとく

葡萄酒と
果實密製造元
平町郡役所前通
佐藤葡萄酒舖

小僧さん入用（有聲座隣）
喰べてたいしい
遠藤パン

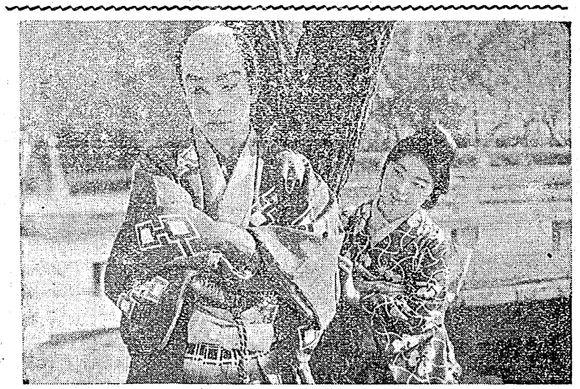
目薬
官許
正明丹
代價拾錢
藤田家傳
平町田町電話三三八番
藤田榮助

看護婦派出の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

和久井屋漆器店
漆器指物
平町一丁目
電話四〇五番

ユーホン號
特價提供
正價四十五圓のところ
特價三十五圓
（僞物あり御注意）
平四
會田時計店
電話三六三

帝キネ專屬名優競演大會



戰國亂鬪史全七卷
疾風迅雷
◆市川百之助　尾上政十郎主演

◇運命の孤兒
放浪哀話
和製ジヤツキークーガン君主演
全卷

◇た化騷動
目茶苦茶脱線喜劇
歌川八重子・里見明主演
全卷

休憩休樂
印度遠征
帝キネ東北封切場
有聲座
電話五五六番

初日大入御禮

紛失廣告

去る廿三日夜野木玉峰氏後援會と記るせる半紙二ツ折帳面紛失致しました就ては其れを利用致し會員募集或ひは集金等致す者有るかも知れませんが當會にては外交員等は一切使用致しませんから御注意迄でに本廣告に及びました
もし右の帳面御拾ひの方は謝禮致しますから古鍛冶町九十一番地野木玉峰へ御届け下されたし

◆大蒲燒。ウナ丼
來る貳十八日はウシの日
多少に不拘御用仰御願上候
割烹　松本樓
平町南町電話一一三番

株式會社磐越銀行
改稱第十四回
大正十四年上半期
決算報告
貸借對照表

負債之部

一資本金	八五〇、〇〇〇、〇〇〇
一諸積立金	四八、五〇〇、〇〇〇
一諸預リ金	五九四、八三二、一九〇
一他店預及借	一七、五四八、四五〇
一第二種所得稅	三一六、三五〇
一未拂利息及未經過割引料	一四、五〇五、四二〇
一未拂割賦金	六七九、一三〇
一當期純益金	二二、七七七、七二〇
合計	一五四九、一五九、二六〇

資産之部

一拂込未濟資本金	六〇四、五〇〇、〇〇〇
一諸貸附金	七九〇、六七〇、七六〇
一荷附爲替手形	六、六九二、六二〇
一他店へ貸及預	二三、五五八、四〇〇
一國債其他所有物	六八、八三九、〇〇〇
一預ケ金及現金	五四、八九八、四八〇
合計	一五四九、一五九、二六〇

利益金勘定

一金貳萬貳千七百七拾七圓七拾貳錢　當期純益金之ヲ處分スルコト左ノ如シ

金壹千五百圓	法定準備金
金壹千五百圓	特別積立金
金壹千五百圓	行員給與積立金
金七百參圓貳拾貳錢	重役賞與金
金九千五百七拾四圓五拾錢	株主配當金
金八千圓	後期繰越金

株式會社磐越銀行
大正十四年七月

專務取締役頭取	中野甲藏
取締役	西岡重好
同	小野靜重
同	薗田嘉藏
監査役	明智淺吉
同	大谷喜作
相談役	鈴木堅助
同	森本盛一

定價　一部金貳錢　一ヶ月卅錢　郵稅五厘
廣告料　五號十二字詰一行五十錢
休刊日　日曜大祭祝日ノ翌日
福島縣石城郡平町鍛冶町十一
印刷所　本社專屬　磐陽社
發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
福島縣石城郡平町長橋町卅五番地
發行所　常磐毎日新聞社

常磐毎日新聞

七月二十五日夕刊

常磐論壇

解放さるゝ兒童
—夏期休暇の意義—
一訓導投

（承前）

此順應を外國では惡順應と言つてゐますがこれを餘り長く續けると子供は皆かたはの子供になつて了ふところが幸ひにして夏休みといふものが與へられ、こゝに惡順應からのがれる機會をもつことは子供にとつて一大福音です。そこでふだん兩親との間や兄弟姉妹との間に接觸の少かつたものはよく接觸する事が出來自然物人工物凡ての外界の事物に對して子供の興味が新たに多數よび起されます。それらの興味は後に學校に來た時それが原になつて新らしい方面の學課に向つて新しい態度をとる事が出來るのです。さうして今まで惡順應であつたものが訂正されて正しい順應となるのです。外國では暑中休暇になると多くの家庭では兩親が子供を伴れてテント生活に行つたり短い旅行をしたりして、ふだん子供と接觸する機會が少かつた缺點を補ひます。やゝもすれば親子の間に理解のない樣にならうとする傾向を此機會に緩和して行くのです。それは一方から言へば親が自分を子供に與へる事であり、子供はまた自分を親に發表する機會を得るわけですからいふ意味において學校の立場からも家庭教育の立場からも長期の休業は非常に意味の深いものです。されば單に夏休みを學校教育の擴張のみと考へて宿題を課するといふやうな事は子供の生活を完全にする所以ではありません

本紙五百號記念の催し

—自轉車遠乘會—

（日時）八月九日（集合）午前六時半迄に尼子橋上へ（目的地）四倉海岸海氣館（余興）福引其他の催しあり（會費）一圓二十錢、ビール付晝食（申込締切）八月六日迄

—八イ取競爭—

本紙五百號當日（八月三日）より三日間に捕獲せる蠅を六日役場前に持ち集り審査の上一升以上の最高捕獲者に賞金五圓、各區を比較し最高の捕獲に達せる區の衛生費に賞金十圓を贈呈。此催しには平警察署、平町役場、平衛生會後援す

—十字語判斷—

五百號當日の紙上に最も興味ある問題を發表し正解者廿名に對して賞品を呈す

余の胸中には解決の確信がある

此際心配は無用と 香坂知事が語つた

▽……伏見平町長の土産談

井上縣議は青沼町議と共に大瀧發電所問題の陳情や其の他の用件で出縣中であつた伏見町長は今朝歸平し次の如く語つた『知事は近く必らず解決する確信を以つて居るのであるし殊に

解決方法 に就いての仕事を現に運んで居る眞最中なのであるから暫く氣を揉まずにまかして置いて貰ひ度いとの事であつた、また小田吉次氏より縣へ提出した工事變更に關する書類は不備な點があつた爲め幾分解決の時期が遲れたのであるが知事の意見としては自分は

小田氏が 必らず是れを嚴密に修正して再び提出し來たるものと同氏を信頼するのみならず提出せしめずには置かぬ事であるから決して心配を要しないとの事であり且つ大瀧發電所が工事に着手して實際平町に危害を與へつゝあるものとすれば寸時も早く平町の爲めに善後の

處置を講 せねばならぬ事だが未だ工事に着手した譯ではなく現在はいさゝかも平町に危害を與へては居ないのだから早く此問題が片付かぬ事は平町民として奥歯に物のはさまつた感もあるであらうが是非此際は心配せずに解決の總べ

ては縣の手にまかして置いて貰いたいと云つて居た』

馬城會を組織 平町

眞木恒、岡田弘成兩氏發起にて在平相馬中學校出身者を以つて馬城會を組織し八月中旬頃發會式を擧げると

子を持つ親への警告

「河邊に涼しい遊び場所を見付る

▽……子供達には夫れが
▽……恐ろしい事件の因

暑い〳〵、子供達は河邊に涼しい遊び場所を見付る、從つて危險が多くなる、昨日も左記の樣な小兒の溺死事件があつた、父兄は餘程注意を要する季節である

藤原川へすべり込む 小兒の溺死

石城郡磐崎村大字下藤原字中儀一の二男齋藤昇（五）は廿四日午後三時兄儀勝（七）と共に藤原川の土手にて遊んで居たが足をすべらし河中へ轉げ込み溺死したと

月見町の河中に浮いた 幼女の死体

平町月見町五郎の六女高萩イト（四）は廿四日の夕方遊びに出た儘夜になつても歸らないので大騷ぎとなり附近の者が總出で心當りを尋ねて見た處同町の用水堀洗場にイトの下駄を發見し水底を探した處約三町ばかり下流に屍体となつて浮き上つて居た爲め醫師を招いて應急手當を施したが蘇生しなかつた多分洗場にて足を洗はんとし轉落したものであらうと

石城 補助教育 農閑期に開校

石城郡に於ける補習教育は逐年盛んになり本年開校したもの四十九校で此の經費三萬三千六百十四圓を算し內大部分は農閑期の十一月より三四月頃まで開校するものであるが常設的のものも漸次增加し小名濱、勿來小川、內郷等を初め十二校を算してゐるが之れ等は女子に裁縫を教授するものであると

家庭欄

ナスのワサビアエ

ナスを適當な方法で丸燒にし適宜に縱に裂き薄つすらと良き醬油で味をつけそれを、ワサビのおろしたもので。あまり辛くない程度でアエるのです、ワサビの無い時はショーガのおろしたものでもよい

▲牛乳アエ・・・・豆腐アエ・・・・前と同じ方法で、醬油の代りに少量の食鹽で味をつけサツトゆでゝ水を切り、適宜にソースを掛け、それに白スボシか、卵をそのまゝ薄く燒いたものを細かに細長く切つたものと七分三分位に混せて用ひる。

▲フライ鍋の汚れ・・・・ 近頃はどこの家庭でもフライ鍋を使ひますが、このフライ鍋は兎角よごれやすいものですそこで使つた後はワラ灰でよく磨いておきますと美くなり又サビもしません

磐中演習隊通信

第一報＝廿三日

・午前九時五十分平驛出發午後四時卅分翁島驛着折からの雨天のため磐梯山の秀峯を見る事が出來ず甚だ殘念であつたが、猪なは代潮は雨煙にかすんでその一部の景を賞する事を得た。翁島驛は曾つて攝政宮殿下行啓あつた處非常に美しい沼津驛のやう。四十分にして廠舍に到着、直ちに班長に卒られて入舍す。この廠舍は磐梯山の麓にありて至極景色よく又演習に適す今日は日暮れに近く一同疲勞してゐる故、何事もなさず就寢此處へ入つて一番辛く感ずるのは、贅澤かも知れんが飯のウマクナイ事である

赤井青年稽古

石城郡赤井村小田炭礦飯場新田吉藏氏は村上駐在巡査と協力し廿五日から附近の青年を集めて劍道土用稽古を開始したと

各人極度の緊縮から 各銀行の預金が增加

昨年同期に比して 約四十萬圓以上の增加

平地方昨今金融界の狀況は磐城や平の兩銀行の預金額が昨年同期に比し約四十萬以上の增加を示しその他各銀行共それに伴つた活況を呈してゐるこの不況に金融界の活達は一寸

受け取れ ぬ話であるが、要するに之は各人共炭礦その他から受けた長い間の不況に疲勞を感じてゐる事と、も一つには、大不況襲來の聲に非常な恐慌を感じてゐる結果、將來を案じて各自緊縮方針を執り

預金へと 針路を替へたもので現に今年は、養蠶は當る、漁港は近年稀れの大漁と來てゐるので、平町はその餘波を受て好況の筈であるが、依然として振るはぬのは一般民衆の頭が從來の膨張

生活から 脫却して緊縮へ〳〵と方面を換て進みつゝある事を充分に物語つてゐるものであると某經濟通は語つてゐた

愛谷江修繕

伏見町長其他 縣當局へ陳情

石城郡好間村を流るゝ夏井川の愛谷堰はずつと以前決潰した際姑息的なもので間に合せ約五百町歩の耕地に灌漑してゐるが水量が增せば上流の約五百町步は浸水し堰が決潰すれば下流が渴水することゝなるので縣で永久的の恢復をなし開閉自在の水門を設けるやう再三陳情したが財政緊縮の爲め未だに實現を見るに至らないが本年は是非これを實施するやうにと木村、井上兩縣議伏見平町長外十名は廿四日出縣陳情する所あつたなほ工費は廿六萬五千圓で內半額は國庫補助が貰へるのだと

海軍簡閱點呼 來る廿九日に

石城郡にては來る廿九日午前八時より郡會議室に於て海軍簡閱點呼を執行するが執行官は海軍中佐石原北夫氏で點呼參會者は七十五名であると

日本大學講演

日本大學福島縣人會文化講演部にては來月三日午後六時より平町公會堂にて講演會を開くと

平局 本年度の電話抽籤 來月二日に

平郵便局の本年度架設電話抽籤は來月二日同局樓上に於て執行されると

小野田の防疫

石城郡磐崎村小野田炭礦にては此程坑夫長屋の便所や下水堀に石油乳劑を撒布したと

平町人事

▲出生

△紺屋町二四 馬目安一氏長男一

△才槌小路二五 富塚熊吉氏二男正